
2. 発表論文等

第2章に掲載した論文等は各団体から転載の許可を得て掲載しております。

なお、著作権は各団体に帰属するため、転載を禁じます。

2.1 論文・技術報告等

- 1) 街路樹剪定枝の有効利用を想定した処理・処分方法別のCO₂削減効果の推計 49
- 2) 河川における外来植物の使用実態とその逸出リスクの地域差 55
- 3) インターバルカメラを用いたオオキンケイギクの開花量の推定方法 61

2.2 学会・シンポジウム要旨

- 4) 歴史まちづくり法認定都市における歴史的建造物の復旧過程に関する調査 67
- 5) 都市公園に係わる技術基準等における景観の位置付けに関する研究 69
- 6) マイクロチップを用いた小型サンショウウオ類の行動追跡と生息地利用の解明 75

2.3 雑誌・特集記事等

- 7) 緑化分野における LCCO₂に関する検討—街路樹を対象とした事例— 79
- 8) 都市における再生可能エネルギー活用の推進—都市の植物廃材の利用— 85
- 9) 津波による倒伏被害に強い海岸林のマツ再生 89

2.4 出典

2.1 ～ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。（掲載順に列挙）

2.1 論文・技術報告

- 1) 山岸裕・栗原正夫（2012）街路樹剪定枝の有効利用を想定した処理・処分方法別のCO₂削減効果の推計，環境情報科学学術研究論文集，26：237-242.
- 2) 畠瀬頼子・小栗ひとみ・松江正彦・栗原正夫（2013）河川における外来植物の使用実態とその逸出リスクの地域差，ランドスケープ研究，76（5）：241-244
- 3) 小栗ひとみ・畠瀬頼子・松江正彦・栗原正夫（2013）インターバルカメラを用いたオオキンケイギクの開花量の推定方法，ランドスケープ研究，76（5）：493-496.

2.2 学会・シンポジウム要旨

- 4) 曾根直幸（2012）歴史まちづくり法認定都市における歴史的建造物の復旧課程に関する調査，日本造園学会関東支部大会事例・研究報告集，30：25-26.
- 5) 曾根直幸・阿部貴弘（2012）都市公園に係わる技術基準等における景観の位置づけに関する研究，景観・デザイン研究講演集，8：200-205.
- 6) 園田陽一・上野裕介・松江正彦・栗原正夫（2012）マイクロチップを用いた小型サンショウウオ類の行動追跡と生息地利用の解明，第60回日本生態学会講演要旨集，330.

2.3 雑誌・特集記事等

- 7) 山岸裕・松江正彦（2011）緑化分野におけるLCCO₂に関する検討—街路樹を対象とした事例—地域生態系保全のための緑化技術の開発，土木技術資料，54（7）：14-19.
- 8) 曾根直幸・山岸裕・栗原正夫（2013）都市における再生可能エネルギー活用の推進—都市の植物廃材の利用—木の可視化技術の現状，土木技術資料，55(1)：12-15.
- 9) 飯塚康雄（2012）津波による倒伏被害に強い海岸林のマツ再生，新都市，66（7）：17-21.